

こみさぽ倶楽部

学生生活お役立ち情報

～研究室の選び方～



研究室ってどんなところ？

研究室は、研究活動を行う組織です。

具体的な活動は、研究室によって様々です。

例えば……

大勢でゼミをする ⇔ 個別にゼミを行う

先生や先輩から研究内容を引き継ぐ ⇔ 自分でアイデアを出す

研究室メインの生活を送る ⇔ アルバイトやプライベートも大切にする

この「研究室の選び方」編を通して、自分が入りたい研究室について考えてみましょう！

研究室配属の流れ

まず、研究室配属の流れを説明します。

学部や学科、その年によっても異なりますが、おおよそ次の通りです。

- ① 入りたい研究室の希望を出す
- ② (場合によって) 人数調整や課題の提出、面談をする
- ③ 研究室に配属される

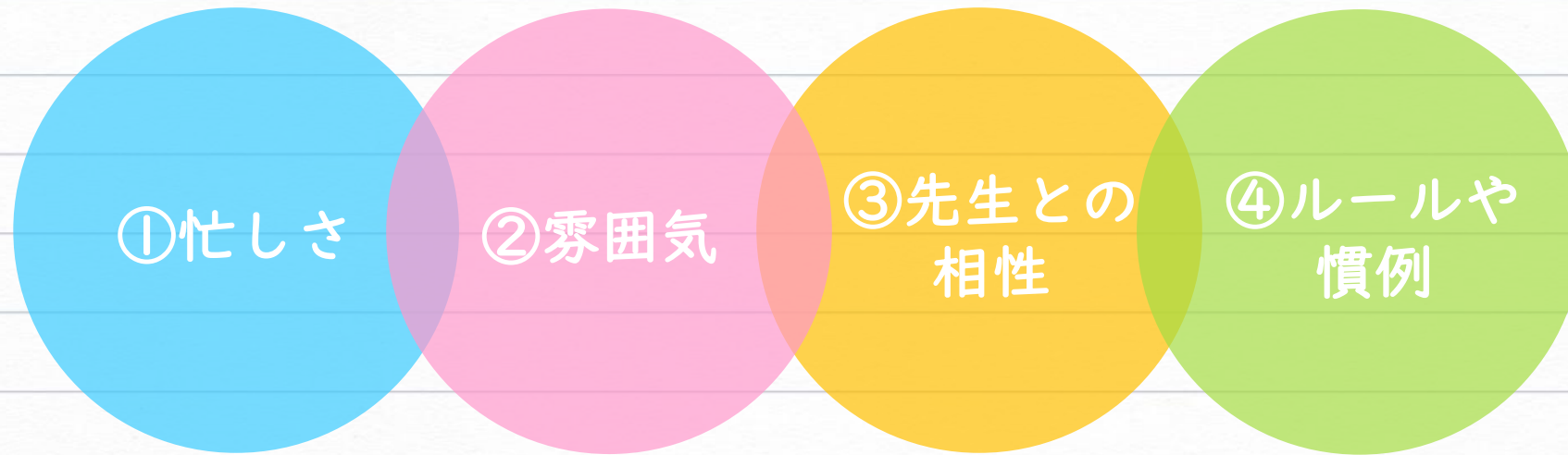
研究室選びの観点としては、「研究したい内容が一致している」ことを第一に考える人が多いです。

しかし、それ以外にも考慮した方がよい点があります。

研究室を選ぶ際の4つの観点

研究室選びの際に考慮した方がよい、4つの観点を紹介します。

「忙しさ」「雰囲気」「先生との相性」「ルールや慣例」です。



観点1: 忙しさ

研究室によって、忙しさは大きく異なります。

忙しさを図る基準としては、次のようなものがあります。

ゼミや作業 の多寡

ゼミの数が多かったり作業の量が多かったりすると、必然的に忙しくなります。

ゼミや作業 の内容・形式

ゼミにかかる時間が長いほど忙しくなります。
自分が発表する・関与するゼミが多いと、準備等に時間を要します。

コアタイム の有無

コアタイムがあると、その時間帯は研究室にいなければならない、拘束時間が長くなります。

コアタイムがあると、実家から通っている人は、より朝早く/帰りが遅くなります。

アルバイトを充実させたい人、プライベートを大切にしたい人は、

忙し過ぎない研究室を選ぶのが良いでしょう。

観点2：雰囲気

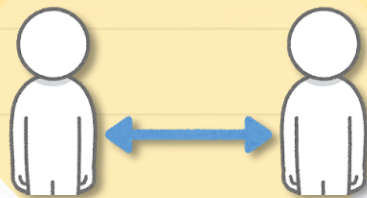
雰囲気も、重視すべき観点のひとつです。

雰囲気は、その時のメンバーでも変化しますが、自分に合う雰囲気の研究室が良いでしょう。

和気藹々としている



物静か、
距離を保つ



せわしない



のんびりしている



上下関係が強い



雰囲気を感じるには、実際に見学に行ってみるのが一番です。

観点3: 先生との相性

先生との相性は、非常に重要です。

研究室に在籍している間は、先生とのやりとりが行われます。

相性の良い先生の方がストレス無くやりとりできます。

学生と同じ視点に立つ



活発にやりとりする



学生を管理する



知的好奇心が強い



どういう人物と相性が良いかは人それぞれです。自分との相性を考えてみましょう。

観点4：ルールや慣例

最後に、ルールや慣例についてです。

研究室によって、ルールや慣例が存在します。

例えば……



- 朝礼や出席確認がある
- 係が課される
- 先輩が後輩を受け持つ



研究室紹介や先輩から情報を得て、**ルールや慣例についても確認**しておきましょう。

+αの観点: 環境や設備

環境や設備も、研究室選びの材料にできます。

特に研究室にいる時間が長い場合、環境や設備も重要となります。

オフィスのような研究室もあれば、**リラックススペース**のある研究室もあります。

また、**研究用の機器**が揃っていたり、**文献**が揃っていたりする研究室もあります。

その他、**調査研究**のための環境が整っている、**発表の場**が多い等、

特定の活動の機会が多いことも、研究室を選ぶ観点として良いでしょう。



以上、「研究室の選び方」を紹介しました。

どのような研究室が良いかは人それぞれです。

4つの観点を参考に、

自分の行きたい研究室について考えてみましょう！

